

日本ロシア文学会・日本スラヴ学研究会共催 オンライン シンポジウム・講演会

プログラム

13:00-13:40 日本スラヴ学研究会総会

第1部 シンポジウム (14:00-17:20)

記憶と創造の中の祖国・歴史・越境

ロシア・東欧における文化と変容

司会：越野剛（慶應義塾大学） コメンテーター：中村唯史（京都大学）

14:00-14:10 開会挨拶 長興進（日本スラヴ学研究会会長・早稲田大学名誉教授）

14:10-14:35 阿部賢一（東京大学）「ミラン・クンデラと翻訳」

14:35-15:00 菅原祥（京都産業大学）「炭鉱経験を再考する：

ポーランド、カトヴィツェ郊外のアマチュア画家グループの考察から」

15:00-15:15 質疑応答

15:15-15:30 休憩

15:30-15:55 平松潤奈（金沢大学）「ソ連強制収容所とその記憶」

15:55-16:20 岩本和久（札幌大学）「現代ロシア・アートとグローバリズム」

16:20-16:45 井上暁子（熊本大学）「国境地帯の文学の挑戦：

ずれを抱え込む空間から、ずれを引き起こす空間へ」

16:45-17:15 質疑応答

17:15-17:20 閉会挨拶 三谷恵子（日本ロシア文学会会長・日本スラヴ学研究会企画編集委員長）

シンポジウムは公開で行いますので、日本ロシア文学会、日本スラヴ学研究会の会員以外の方も、参加を歓迎いたします。参加希望の方はどなたも事前参加登録をお願いします。事前登録については裏面をご確認ください。

第2部 講演 (17:40-19:00)

沼野充義（東京大学名誉教授・名古屋外国語大学副学長）

亡命・ユートピア・世界——ロシア・東欧を超えて

司会：望月哲男（北海道大学名誉教授・中央学院大学）

6月26日

土

ЯАР 日本ロシア文学会
Японская Ассоциация Русистов

The Japan Society
for the Study of
Slavic Languages
and Literatures
JSS
SLL